



## 第24回常任理事会

**日時** 平成23年3月8日（火）18：00～19：44  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・直江・橋本・前川・山科各常任理事、中村・大口各監事  
 （事務局：島影事務局長ほか12名）

### 協議事項

#### 第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座30件、道医認定生涯教育講座20件、合計50件を承認することと決定。

### 報告事項

#### 1. 日医シンポジウム「会員倫理・資質向上をめざして（患者苦情情報に基づく倫理問題の検討）」[2月24日（木）]について（橋本常任理事）

都道府県医師会における患者の苦情相談に関するアンケート調査結果が藤川常任理事から行われた。その後、東京都、愛知県、滋賀県、福岡県の4医師会から、現状の取り組みについて報告があり総合討論が行われた。参加者は120名であった。

#### 2. 自賠責保険研修会[2月26日（土）]について（目黒常任理事）

日本損害保険協会の自賠責保険運用益拠出事業の一環として、日本損害保険協会北海道支部、損害保険料率算出機構札幌自賠責損害調査事務所、当会の三者で本研修会を開催した。内容は「学術講習」と「自賠責講習」の2部構成とし、学術講習では北海道大学病院整形外科講師の小谷善久氏より『外傷性頸部症候群に関する最近の知見』と題し、外傷性頸部症候群（WAD: Whiplash-Associated Disorders）について解説がなされた。また自賠責講習では、損保料率算出機構札幌自賠責損害調査事務所医調課長の秦鉦太郎氏より『自賠責保険の仕組みと治療費の請求について』と題し講演がなされ、治療費請求および自動車保険診療費算定基準（新基準）に関する

照会事例について説明がなされた。参加者は75名（医師14名、請求事務担当者等57名、損保関係者4名）であった。

#### 3. 第1回学校心臓検診推進委員会[2月26日（土）]について（三戸常任理事）

平成22年度事業は21市町村で実施され、児童生徒の検診対象者4,681人中4,430人が受診しており、94.6%の受診率であった。また、23年度事業では、21市町村で4,530人の検診対象者が予定されている。

#### 4. 日医予防接種講習会[2月27日（日）]について（三戸常任理事）

子ども予防接種週間（3月1日～7日）の実施にあたり、予防接種をより円滑に行うことを目的として開催された。「予防接種週間・麻疹排除に向けて」「厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会の検討状況」「補正予算で公費接種が開始されているHPVワクチンについて」「補正予算で公費接種が開始されているヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンについて」「予防接種のスケジュールのモデルについて」をテーマとした5つの話題提供があった。

#### 5. 郡市医師会介護保険担当理事連絡協議会[2月27日（日）]について（前川常任理事）

これまでの日医介護保険委員会における検討事項および社会保障審議会介護保険部会での討論の内容、とくに介護保険制度の課題、介護と医療の重層的利用について、小職より報告説明を行った。続いて、厚労省老健局老人保健課の宇都宮啓課長より「介護保険の動向と次期改定に向けて」と題して特別講演が行われ、介護保険制度を取り巻く状況、介護人材の確保、介護保険施設の状況、介護療養病床に関する調査、地域包括ケアの推進など広範囲な内容であった。その後、質疑応答が行われ終了した。31郡市医師会から出席があり、出席者総数は37名であった。

#### 6. 地域医療フォーラム[2月27日（日）・旭川市]について（直江常任理事）

旭川市医師会と当会の主催、旭川市、保健所、近隣郡市医師会および報道各社等20団体の共催・後援により、「高齢期を明るく生きぬくために」をテーマに開催した。旭川医科大学皮膚科学講座・山本准教授が基調講演を行い、引き続き旭川市医師会・山下副会長と小職がコーディネーターを務め、5名のパネリストから救急医療や認知症、在宅ケアおよび高齢者施設について発言があった。参加者は226名であった。

#### 7. 在宅緩和ケアに関する従事者研修事業[3月5日（土）]について（渡邊常任理事）

並木昭義札幌医大名誉教授が中心となり、「こうすればうまくいきます、在宅緩和ケア」をテーマに開催した。出席者は46名。はじめに岩手県の訪問看護ステーション「あゆみ」所属の看護師である高橋美保氏より『「つながり」からの在宅緩和ケア』と題し

て講演が行われた。続いて、ミニレクチャーが行われ、医師、看護師、MSWの立場から、症状緩和、全人的ケア、制度の面からおのおの発表があった。なお、この研修は北海道の委託事業で、今年度をもって終了となる。

#### 8. 診療行為に関連した死亡調査分析モデル事業トレーニングセミナー [3月5日(土)・東京]について (橋本常任理事)

標記トレーニングセミナーが東京大学山上会館で、117名の出席で開催された。厚生労働省からは「モデル事業の展望」「諸外国の医療事故調査システム」、東京大学からは「調査解剖と病理解剖」「臨床評価の実際と今後の展望」、札幌大から「地域における評価」、東海大から「Ai(死亡時画像診断)の視点」、弁護士から「遺族の立場」、国立保健医療科学院から「医療安全の視点」の内容で、それぞれ口演が行われた。本年3月4日時点での受付件数は、全国で137件、北海道は12件である。

#### 9. 日医各委員会報告

##### (1) 生涯教育推進委員会[2月25日(金)]について (渡邊常任理事)

都道府県医師会主催の指導医のための教育ワークショップ、今後予定されている日医生涯教育協力講座セミナーの実施について承認を行った。また、前回に引き続き「総合医」「総合診療医」に関する当委員会の共通理解、日医生涯教育と総合診療カリキュラム、などについて協議が行われた。

##### (2) 地域医療対策委員会[3月3日(木)]について (三宅副会長)

会長諮問「国民医療を確保するための地域特性と地域連携のあり方について」に対する議論の論点を確認し、フリートークを行った。

##### (3) 医療安全対策委員会[3月3日(木)]について (橋本常任理事)

今後の進め方について協議し、各委員の進捗状況の報告を行った。当会からのプロジェクトについては、前回報告した「転倒転落・採血(注射)・薬剤誤投与」であるが、過去に研修会に参加いただいた医療機関に対しヒヤリハット報告と改善事例についてアンケートを実施したこと、および協力いただける医療機関に対して実践依頼をしたことを説明した(今回はテレビ会議で開催)。

##### (4) 会長選挙制度に関する検討委員会[3月4日(金)]について (長瀬会長)

アンケートに寄せられた種々の意見からも、会員の参加意識を高める等利点がある直接選挙とする方が望ましいという結論になったが、新しい公益法人制度下での役員選出方法の問題もあり、多数の会員が一堂に会す形での社員総会は難しく、現実には代議員制度を取らざるを得

ない等、その実現について制度上の問題点も指摘する答申となる。

#### 10. 外部各委員会報告

##### (1) 第2回北海道自殺対策連絡会議[2月28日(月)]について (三戸常任理事)

北海道における自殺者の現状と23年度の自殺対策事業について説明があったほか、各構成機関の「自殺対策強化月間(3月)」における自殺対策の取り組みについて報告があった。

##### (2) 北海道精神科救急医療体制連絡調整委員会[3月7日(月)]について (北野常任理事)

道内の精神科救急医療体制整備事業の現状と国の実施要綱の改正について事務局より説明の後、事業実施状況の報告がなされた。その後の意見交換では、現在のブロックでは、輪番制参加病院の負担が大きいことが問題提起され、再編を含め各ブロックで検討することとなった。

#### 11. 中央情勢報告 (直江常任理事)

行政刷新会議のワーキンググループが、3月6日の「規制仕分け」で、①訪問看護ステーションの開業要件、②医薬品および医療機器の審査手続、③一般用医薬品のインターネット等販売規制、などについて評価、見直しを求めたことを報告した。

#### 12. 各部報告

##### (1) 「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」に関する最新情報について (三戸常任理事)

子宮頸がん(HPV)ワクチンの市場供給量不足、小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブ(Hib)ワクチンの同時接種による死亡事案について、小職より最新の状況について報告した。

## 第27回常任理事会

日時	平成23年3月22日(火) 18:30~20:14
場所	北海道医師会館9階・理事会室
出席者	長瀬会長、三宅・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事 (事務局：武藤事務局次長ほか11名)

#### 協議事項

##### 第1号 第135回北海道医師会定時代議員会の処理事項に関する件 (深澤常任理事)

3月21日開催の定時代議員会で採択された決議ならびに東北地方太平洋沖地震の災害支援に関する声明を、日本医師会長、都府県医師会長、郡市医師会長、内閣総理大臣をはじめとした閣僚、国会・道議会議員、政党、関係省庁、マスコミ等672件に対し送付することと決定。

##### 第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (深澤常任理事)

3月16日開催の審査委員会で指定「可」とされた新規2名、再審1名の申請者を指定医師とすることに決定。

### 第3号 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委員の推薦に関する件（藤原常任理事）

支払基金の現審査委員の任期が5月末で満了となることから診療担当者50名の推薦依頼があった。例年にならい、内科、外科は関係郡市医師会、その他の専門科は各専門医会に推薦を依頼することと決定。

### 第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座16件、道医認定生涯教育講座15件、合計31件を承認することと決定。

### 第5号 職員人事異動に関する件（深澤常任理事）

職員2名の退職に伴う補充と事務局各課における業務量の平均化などを目的に、管理職の任用・異動を含む人事異動を本年4月1日から行うことに決定。

### 第6号 その他

- (1) 4月行事予定に関する件（事務局）
- (2) 平成23年東北地方太平洋沖地震に関する義援金について

このたびの東北地方太平洋沖地震被害に対し、北海道医師会として義援金をおくる方向で検討を進めることになった。

### 報告事項

#### 1. 第3回男女共同参画検討会[2月28日(月)]について（藤井常任理事）

「女性医師たちのキャリア教育」をテーマに安藤委員から話題提供をいただき、その後、種々活発に意見交換を行った。

#### 2. 緊急臨時的医師派遣事業第13回運営委員会[3月9日(水)]について（深澤常任理事）

延長申請37件と新たに派遣申請のあった14医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。

#### 3. 北海道病院団体懇談会[3月14日(月)]について（北野常任理事）

話題提供として、北海道病院協会の徳田理事長から諸事業の取り組みについて説明があった。また、藤井常任理事からは当会で開設準備を進めている女性医師等支援相談窓口事業について説明の後、意見交換を行った。

#### 4. 北海道医療安全推進協議会[3月15日(火)]について（橋本常任理事）

全道の医療相談実績、地方の医療安全支援センターの活動状況、7団体の医療安全の取り組みについて報告が行われ、平成23年度の北海道医療安全推進方針について協議した。

#### 5. 北海道自動車保険医療連絡協議会[3月15日(火)]について（目黒常任理事）

自賠責保険医療の円滑な運営を図ることを目的

に、今年度も損保側委員と協議・意見交換した。今回は「柔道整復師に係る施術費用の適正化」に関し意見交換を行った。また医療機関と損保との間のトラブル事例（健保使用に係る事例、支払遅延、人身傷害補償保険に係るトラブル事例等）について、当会側から報告し、損保側に対し是正、改善を求めた。

#### 6. 平成23年東北地方太平洋沖地震第1回北海道医師会災害対策本部会議[3月16日(水)]について

（目黒常任理事）

3月15日16時に当会館内に設置した「平成23年東北地方太平洋沖地震北海道医師会災害対策本部」の第1回会議を開催し、当会および道庁関係者の出席もいただき、対応状況報告や今後の対応について協議した。

#### 7. 東北地方太平洋沖地震災害に関する救急医療等有識者意見交換会[3月18日(金)]について

（目黒常任理事）

道の主催により開催され、三大学の救急教授ならびに北海道地区緊急被ばく医療ネットワーク協議会委員長が出席し、被災県への支援状況、スクリーニング検査や医療救護班派遣の対応について意見交換を行った。

#### 8. 第4回ほっかいどう健康塾[3月19日(土)・千歳市]について（藤井常任理事）

当会と読売新聞北海道支社等が主催し、北海道の後援による市民対象の講演会を札幌市内において開催。小職を含む主催者挨拶の後、「女性のがん」を総合テーマに「診断と治療～子宮頸がんは予防の時代」と題して小職より、「乳がん～診断と乳房温存手術」と題して札幌乳腺外科クリニック副院長の岡崎亮氏より、それぞれ講演が行われた。参加者は80名であった。

#### 9. 日医理事会報告（長瀬会長）

東北地方太平洋沖地震への対応や、日本医学会分科会新規加盟2学会の件、文部科学省「今後の医学部入学定員の在り方等に関する検討会（第4回）」の件、第28回日本医学会総会の開催変更等につき報告の後、第124回日本医師会定例代議員会ならびに第69回日本医師会定例総会開催延期の件等につき協議した。

#### 10. 日医各委員会報告

##### (1) 男女共同参画委員会[3月4日(金)]について（藤井常任理事）

女性医師支援センター事業、要望書「日本医師会 女性医師枠創設について」、男女共同参画への日本医師会の取り組み等について検討した。また、諮問に対する答申作成に向け協議を行った。

#### 11. 外部各委員会報告

##### (1) がんプロフェッショナル養成プラン・評価委員会[3月15日(火)]について（畑副会長）

道内4大学(札幌医大・北大・旭川医大・道医療

大)が共同運営している同養成プランの22年度実績報告を受け、「事業計画どおりに進んでいる」との評価を下した。

## 12. 各部報告

### (1) 平成23年度特定健診集合契約について

(三戸常任理事)

平成23年3月14日現在、特定健診集合契約の参加健診機関数は1,596件、その内、道医への電

子化代行依頼件数は551件である。

### 道総医協関連事項（三宅副会長）

#### 1. 介護老人保健施設整備検討委員会[3月15日(火)]について（藤原常任理事）

初めに事務局より平成22年度の介護老人保健施設整備状況について、8件が報告された。ついで平成23年度の介護老人保健施設整備計画8件について協議を行い、特に異議なく全件承認した。

## 電子メールによる会員への情報提供について

### —メールアドレスの登録—

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

#### ●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：[add@m.doui.jp](mailto:add@m.doui.jp)